

ふれあい 広場



下荒針町の羽^{はじた}下というところに薬師堂があります。その中になつられていたのがこの仏像です。手や足がなく、台座や光背の傷みもひどかったのですが、平成6年に修復。さらに去年の3月、新しいお堂を能満寺の境内に造り、今はそこに移しました。

この仏像は、平安時代に作られたといわれています。一本の木でできていることが特徴です。関東以北でこれだけ古い仏像は珍しいものです。

先日、市民大学の皆さんが見学に来ましたし、関西の学生さんが来たこともあります。お参りしたい人は、声を掛けていただければいつでもお堂を開けますので、気軽においでください。



駒生町
倉松和彦さん

のうまんじ もくぞうやくしにょらいつぞう
能満寺の木造薬師如来立像
昭和32年1月12日・市指定文化財

文化財ウォッチング